









MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING

# MCN REPORT

Vol.18 2012.9

 あいさつ	1 ページ
 トピックス	2 ページ
 大学の動き	3 ～ 6 ページ
 学生生活	7 ～ 8 ページ
 学生支援事業	9 ～ 10 ページ
 研究室訪問	11 ページ
 行事予定	12 ページ
 新任教職員紹介	13 ～ 14 ページ

トピックス

**15周年記念式典・シンポジウム開催**

2 ページ

シリーズ

**夢緑祭**

7 ページ

**研究室訪問**

11 ページ



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



大学マスコット  
キャラクター  
「みかんちゃん」

## 理事長〔学長〕 あいさつ

村本 淳子



### 開学15周年を迎えて

平成9年に開学した本学は、平成24年5月8日で開学15周年を迎えました。これまでに約1200名の学生が本学から巣立ち、三重県内を始めとして、国内外で広く活躍しています。その間、平成13年には大学院を、平成23年には認定看護師教育

課程「感染管理」を開設することができ、単科の看護大学として、また質の高い看護実践家の育成をめざした大学として、着実にその使命を果たしてきています。

今年は開学15周年を迎えて本学のあゆみをより多くの方々にご理解いただくために、15周年記念事業の一貫として看護博物館の開館、『三重の看護史』

の編纂を行い、看護、とくに三重県の看護の可視化を試みてみました。また開学記念日には三重県知事ご列席のもと、テレビ会議システムにより、北勢、伊賀、東紀州の3地域に遠隔配信を行い、多くの方々にご参加いただき、記念式典を盛大に挙行することができました。記念シンポジウムでは「三重県の看護のこれまでとこれから」と題して、三重県の医療・看護を現状分析し、これからの看護、これからの三重県の医療・看護をとともに考える良い機会となりました。本当にうれしく思います。

今回、一連の15周年記念行事開催に当たっては、三重県立看護大学同窓会、また後援会の皆様方、本学サポーターの皆様など多くの方々にご支援いただきました。心より感謝いたします。

本学が、今後ますます充実、発展していけますよう教職員一同さらに努力していきます。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。

## 後援会会長あいさつ

市川 稔



本学後援会の事業目的は、即ち「学生が学業や学生生活を、より、やり易くする環境を創る」ことで、このため、従来からのクラブ・サークル活動等への学生支援事業はもとより、昨年度からは、遅い時間帯に帰宅する学生への対応のための

帰宅バス運行事業や、学生が実習地に赴く際の交通

費補助事業、また、ボランティア参加補助事業等を新設しました。

本年度においてもその充実を図るよう努力したいと考えております。

特に、本年度は開学15年の節目の年でもありますことから、本学後援会の目標達成のため、微力ながら一生懸命取り組みたいと考えているところで、引き続き、後援会事業にご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 後援会 役員名簿

会 長 市川 稔

副会長 西山 和仁

副会長 横田 尚美

理 事 杉谷 吉彦

理 事 小堂 幸恵

理 事 北川 智子

理 事 米田 恭三 新任役員

理 事 川出 明伸 新任役員

理 事 玉樹 麗子 新任役員

理 事 宮崎 由美子 新任役員

監 事 中井 まゆみ

監 事 出口 美代子

顧 問 村本 淳子 学長

顧 問 橋爪 彰男 事務局長

事務局長 加藤 和浩 事務局副局長

事務局 川辺 秀樹

事務局 梶 智恵



# トピックス

## 開学15周年記念式典・シンポジウムを開催しました



三重県立看護大学は質の高い人間性豊かな看護職者を育成するため、三重県内初の看護系大学として平成9年に開学し、今年15周年を迎えました。

これを記念して、開学記念日の5月8日に開学15周年記念式典及び開学15周年記念シンポジウムを開催しました。

記念式典では、村本学長からの「質の高い看護実践家の育成を目標として取り組み、皆様のご支援のおかげで着実に成果をあげることができました。」との挨拶の後、鈴木英敬三重県知事、山本教和三重県議会議長からお祝いの言葉をいただきました。また、本学初代学長の前原澄子氏に、本学の発展への多大な貢献に感謝

して感謝状を贈りました。最後に、開学15周年事業の一環として実施された「三重県立看護大学附属看護博物館」の設置と『三重の看護史』の編纂・発行の完成報告を行い閉式となりました。

引き続き開催された記念シンポジウムでは、テーマを「三重の看護教育のこれまでとこれから」として、シンポジストに奥野正孝氏（三重県地域医療研修センター長、本学客員教授）、武村泰男氏（本学教育研究審議会委員、元三重大学長）、田村やよひ氏（国立看護大学校長、元厚生労働省医政局看護課長）、前原澄子氏（京都橘大学看護教育研修センター所長、本学初代学長）をお招きして、村本学長のコーディネートにより、三重県における看護教育の将来像などについてそれぞれの専門の立場からの御意見をいただきました。

当日は、学内外から300名以上の方にご参加いただくとともに、テレビ会議システムを使用して、三重県立総合医療センター、紀南病院、伊賀市立上野総合市民病院にもシンポジウムの様子を配信し、盛況の内に記念行事を終えることができました。



## 三重県立看護大学附属看護博物館が開館しました！



平成22年4月から2年間の準備期間を経て、15周年の開学記念日である5月8日に無事『三重の看護史』の発行および「三重県立看護大学附属看護博物館」の開館に至りました。このプロジェクトの完成に当たっては、看護職者として県内を中心にご活躍してこられた諸先輩方をはじめ、多くの県民の皆さまからご協力をいただきました。改めてここにお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

開学記念日当日には、記念式典にご臨席下さった皆様に『三重の看護史』をお渡しでき、看護博物館についても、鈴木英敬三重県知事、山本教和三重県議

会議長にご出席をいただき、看板除幕式並びにテープカットによって華やかな開館となりました。

『三重の看護史』編纂、看護博物館開設準備は、三重県の看護職に関わる過去を振り返るものであったと言えますが、過去から現在の中には未来の胎動があるとも考えられます。『三重の看護史』並びに看護博物館が、三重県における新しい看護の創造に、少しでも役立つことを願っております。

開館時間	月・火 木・金曜日 10:00～16:00	水曜日 10:00～18:30
	土・日曜日、祝日、年末年始 その他本学図書館の休館日	
入館料	無料 (入館には入館カードが必要ですので、 図書館カウンターにお申し出ください)	



# 大学の動き

## 『三重の看護史』発行

このたび『三重の看護史 昭和から平成への軌跡』を編集し、発行いたしました。本書では、看護職の仕事内容や労働環境の変化にはじまり教育体制の変化や国際化までと、看護をめぐる三重の動向をおもに1985年から2010年までにわたって多面的に振り返ることを目指しました。それとともに、長らく看護職に携わってこられた方々への聞き書きを加えることにより、看護職の仕事を経験として伝えるよう努めました。本書が、これからの三重の看護を担う皆さんにとって看護への関心を深めるきっかけになってもらえれば、と考えています。



## 前原澄子先生 瑞宝中綬章受章

平成24年度春の叙勲において、本学初代学長である前原澄子先生が瑞宝中綬章を受章されました。

前原澄子先生は、本学開学の平成9年4月から平成17年3月まで学長を務められ、本学の礎を築かれました。また、現在は三重県公立大学法人評価委員会委員として、大学の外から発展を支えていただいています。

前原先生の栄誉に対し、心よりお祝い申し上げます。

## 認定看護師教育課程「感染管理」開講

認定看護師教育課程「感染管理」平成24年度研修生（2期生・30名）が、7月2日に入学式を終えました。翌日より、早速講義が開始され、臨床の場を離れ慣れない環境の中、研修生の皆さんは、頑張っています。



※現在、平成25年度研修生募集のご案内をしております。詳しくは、本学HP認定看護師教育課程「感染管理」をご覧ください。下記までご連絡ください。

連絡先：三重県立看護大学地域交流センター認定看護師教育課程「感染管理」事務局  
TEL：059-233-5626 e.mail: kansen@mcn.ac.jp

## アカデミックオープンキャンパス

3月25日に開催し、県内外合わせて129名の高校生が参加しました。今年度は新たに教科別の個別相談などを設け、志望者の皆様に充実した時間を過ごしていただくための工夫を行いました。高校生の皆様から「わかりやすくよかった」と好評を得ることが出来ました。







## 平成23年度看護学部卒業式・大学院修了式を挙行



平成24年3月19日に、平成23年度の本学看護学部の卒業式（第12期）と大学院看護学研究科の修了式（第10期）が行われ、看護学部97名、大学院4名が新たに本学を巣立ちました。最優秀生には伊藤結花さんが表彰され、卒業生・修了生の代表として松尾知美さんが謝辞を述べました。



## 平成24年度入学式を挙行

平成24年4月4日に、平成24年度の看護学部および大学院看護学研究科の入学式が行われました。看護学部では難関をくぐり抜けた100名を新入生として迎えました。また、大学院看護学研究科では4名が入学しました。新入生を代表して柴原陽香さんが、入学の決意を宣誓しました。本学学生として、充実した学生生活を送られることを願っています。



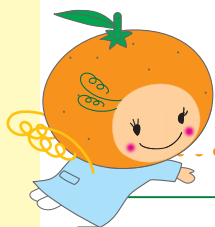
## 平成24年度入試について

一般入試では、前年度の高倍率を受けて受験者数の減少が懸念されましたが、幸い多くの受験生の皆さんに本学を志願していただきました。多様化する入試制度の中で、本学学生としてふさわしい学力を担保出来る入試制度を整えていくことが重要と考えています。

平成24年度入試結果

試験区分		募集人員	入学者数	志願倍率(*)
特別入試	一般推薦	35	31	一般推薦+地域推薦 2.0
	地域推薦		4	
	帰国子女	若干名	0	—
	社会人		0	—
一般入試	一般入試前期	40	41	5.8
	一般入試後期	25	24	9.8

※志願者数/募集人員



# 大学の動き

## 図書館からのお知らせ



メディアコミュニケーションセンター附属図書館では、学習・研究の支援体制を充実させ、利用環境の利便性を向上させました。

- 1階にあった研究ブースを撤去し、20席の学習スペースを増設いたしました。2階にも6席の増設を行い、学習スペースは86席から112席となっております。
- 新規データベース「最新看護索引web」を導入いたしました。これにより日本看護学会論文集の文献をオンラインで閲覧でき、文献入手も容易となりました。また同時に複数人で利用が可能です。
- 本学の卒業生及び修了生の方も文献複写取寄せ依頼の受付を開始いたします。ご利用いただく際はカウンターまでお申し出ください。



## 同窓会

平成24年度の「三重県立看護大学同窓会 本部総会」を6月2日（土）に大学構内にて開催しました。これまでの総会は、決算や予算の審議等に終始しておりましたが、今年度は会員サービスと相互親睦を目的として、総会後に特別講演会と親睦会を開催しました。

特別講演には、本学元教員の沢井史穂先生をお招きし「高齢者向け筋力トレーニングプログラム 貯筋運動」についてご講演いただきました。講演後半には、先生の指導のもとで貯筋運動も体験しました。参加者は、短大第1期生から



最近の大学卒業生と幅広く、その職種は看護師・保健師・看護教員・三重県看護協会職員・育児中の方とさまざまでした。懇親会では普段あまり接することのない職種の方々とお菓子をつまみながら話が盛り上がりました。

また、6月23日（土）開催の「夢緑祭」では、今年も「何でも相談コーナー」を開設しました。

同窓会では、今後も会員相互、大学教職員、在学生との繋がりを深める場を作っていきたいと思っています。







## フレンテまつり

6月2日、3日に開催された「フレンテまつり」に参加しました。恒例の「骨密度」「体脂肪」「血圧」測定と「アルコールパッチテスト」に、今年は「ストレス＆血管年齢チェック」が加わり、2日間で900名を超える方々にお越しいただきました。



## みえ看護フェスタ2012

7月7日に開催された「みえ看護フェスタ2012」に参加しました。

本学の進学相談のブースには、看護系大学を志望する、中・高校生だけでなく、保護者の方や社会人の方などたくさんの来場をいただきました。



## 第2回三重県立看護大学公開講座

「東日本大震災後の福島における県民健康管理調査の現状と今後」をテーマに安村誠司さん（福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 副センター長、医学部公衆衛生学講座 教授）が講演されました。

昨年の東日本大震災における福島県の災害は、地震、津波、東京電力福島第一原子力発電所からの放射線汚染でした。特に、東京電力福島第一原子力発電所の放射線汚染については、発電所からの20km圏内に避難指示がだされた県民は約21万人で、その区域の県民は県内あるいは県外に避難しました。この事態に対して、全県民を対象に県民健康管理調査が行われました。

福島県の全県民（約202万人）を対象に行われた県民健康管理調査は、1）基本調査としての「外部被ばく線量の評価」、2）詳細調査としての①甲状腺検査②こころの健康度・生活習慣調査③健康診査④妊産婦に関する調査等で、その概要と中間結果について講演がありました。



## 看護職キャリアデザイン講座

この講座は、県内の高校生を対象に、看護職（看護師・保健師・助産師）の役割、仕事のやりがい、勤務状況、給与などの現実的なことについて知ってもらい、看護職の「ほんとう」を理解したうえで職業選択に役立てていただくことを目的として昨年に引き続き実施しています。

講座のSTEP1では、本学の教員が高等学校に出向き、看護職についてお伝えし、STEP2では、本学を会場に、キャリアデザインの専門家の支援のもと、看護職としてのキャリアをデザインします。STEP1には、県内18の高等学校から、356名の参加を得ました。看護の仕事をよく理解したうえで、看護職を目指してくださる仲間が増えたら嬉しいです！



## ～生協からのお知らせ～

後期になると3年生の臨地実習が始まります。いっぱい学んで、いっぱい悩んで、成長されることを楽しみにしています。

生協ではそのような3、4年生や認定看護師教育課程「感染管理」で学ばれている研修生向けに「書籍などのメール注文」を受け付けています。メールで注文いただくと入荷予定日を返信させていただきます。

生協に加入されている方は全て10%割引で利用ができますので、24時間いつでも注文メールをしてください。

メールアドレスはこちら→[seikyo@mcn.ac.jp](mailto:seikyo@mcn.ac.jp)

※書籍以外でも文具類や音楽CDなどの注文メールもOKです！ご本人の氏名と連絡先、商品名を正確に明記してください



# 学生生活

## 夢緑祭



6月23日(土)に夢緑祭実行委員が主体となって「第15回夢緑祭」を開催しました。「よさこい」、教員も参加した「太鼓演奏」、「バンド演奏」「健康診断」「抽選会」など様々なイベントが催され、幅広い年代の方にご来場いただき、大変賑わいました。



### 夢緑祭を終えて

夢緑祭実行委員長 2年 榊原 泰典

今回「つながり～人と人との絆～」をテーマに催し物を企画しました。昨年も参加してくださった、よさこいチームさん、津高虎太鼓さん、汽車など昨年からのつながりを活かしました。また、みかんだいの学生が所属している“ジャグリアーノ!”さんなどの新しいつながりを作っていました。

最後になりますが、周りの方々のご協力なしには、決してこの夢緑祭を開催することはできませんでした。今回協力してくださったスタッフ、設備業者、広告協賛、その他関係者の皆様、誠にありがとうございました。また、当日来てくださった地域住民、各メディアの皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

## 災害にそなえて ～地域で考えよう「備えあれば憂いなし」～

この事業は災害への危機感が高まっている中、本学を拠点に、「災害に遭遇しても健康を保つ」ための知識や技術について、住民の方々と共に学ぶことを目標としています。

夢緑祭でブースを設置し、非常用物品・食品の紹介と一部試食、母子・高齢者・一般用の準備物品マニュアルの配布、新聞紙を利用した袋の作成体験等をおこない、本学学生のみでなく地域の方々やご父兄にも災害への備えについて考える機会を持っていただくことができました。今後は、地域に出かけて、災害への備えについて住民のみなさまと考えるような事業を展開していきたいと考えています。



## ゆびた祭り

7月4日(水)にゆびた祭りを開催しました。

18時からのご案内にも関わらず、一番早い方でなんと15時から順番待ちをしていただきました。かき氷や唐揚げを美味しそうにほおぼる顔、オリジナルうちわづくりに真剣に取り組む顔、輪投げが上手にできて喜ぶ顔・・・子どもたちのイキイキとした表情で会場は溢れました。予想以上の来場者数に戸惑う場面もありましたが、スタッフを含め会場にいる誰もが夏の一夜を満喫できました。





## きずなネットワーク事業

夢緑祭と同日の6月23日、平成24年3月に卒業した同窓生を対象に第1回茶話会を開催しました。33名の同窓生と教員15名が集い、同窓生全員が近況を報告し、相互に交流を深めました。和気あいあいのうちに2時間が過ぎ、会終了後も参加者間の話は尽きず、全員が名残惜しげでした。来年3月2日に開催予定の第2回茶話会での再会を約束し、それまで頑張ろう！と励ましあい帰路につきましました。



## Let's go to 三看大2012

本事業は小・中学生版オープンキャンパスで第3回目である今回は夢緑祭と同日の6月23日（土）に開催しました。実物大のベビーモデルをこわごわ抱いたり、心臓の音を真剣な表情で聴いたり、ピンクの白衣を着て嬉しそうな子ども達の姿がみられました。お孫さんと参加された方から、「小さい頃からこのような体験ができると看護の仕事がどんなものかがわかっていいですね」という感想をいただき、事業の意義を再認識しました。



## 「Campus CUBE」放送中

レディオキューブFM三重78.9MHz  
毎週金曜日20:30~20:55



3月は、2日間にわたり鈴木英敬三重県知事がゲスト出演されました。この企画は、知事が本学での「すごいやんかトーク」に来学された際に、キャンキューメンバーが直接交渉したことで実現したものです。

## 学生キャンパススナップ ～学内の日常を紹介します～

学生のみなさんにおススメのお店を  
ききました！



スシロー  
「エビアボカドがおいしい」



高虎トック  
狐吉屋「オムライスがおいしい」



「みんなでワイワイできる」  
お好み焼き本舗

「シークリームがおいしい」  
シャトレーゼ



# 学生支援事業

## 充実してきた国家試験対策学生委員の活動

国家試験対策委員に学生委員が誕生して3年目を迎えました。今年の学生委員は、自主性と積極性を備え、意欲的に活動してくれています。6月の国家試験対策模試対応、秋の補講に向けた意見の取りまとめなど、国家試験合格率100%を目標とする意気込みを感じさせます。今年は新カリキュラムにより、4年間の学習を統合する「看護総合特論」が開講されます。補講と合わせて本科目の受講に向けた取り組みなど、一層の活躍が期待されます。教員と学生が協力しながら、目標達成に向けて取り組んでいきたいと思っております。

### 【今年度予定】

- ・保健師・看護師・助産師国家試験対策模試各3回実施
- ・低学年対象専門基礎科目実力確認テスト実施（3年生対象）
- ・補講開催

	看護師	保健師	助産師
受験者数	97名	97名	7名
合格率（23年度）	97.9%	93.8%	100%
全国大学平均（新卒）	97.3%	89.7%	96.0%



## 就職状況

平成23年度卒業生97名の就職状況です。

### 就職状況

看護師	85名
保健師	2名
助産師	7名
進学 その他	3名
就職率	100%
(就職希望者96名のうち)	

### 主な県内就職先

- 地方独立行政法人三重県立総合医療センター
- 社会福祉法人恩賜財団済生会松阪総合病院
- 日本赤十字社伊勢赤十字病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会松阪中央総合病院
- 三重県厚生農業協同組合連合会鈴鹿中央総合病院
- 独立行政法人国立病院機構 三重病院

### 主な県外就職先

- 名古屋市立大学病院
- 社会福祉法人聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院
- 名古屋市立西部医療センター
- 一宮市立市民病院
- 愛知県厚生農業協同組合連合会江南厚生病院
- 国立大学法人浜松医科大学医学部附属病院
- 宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院

## 平成24年度からの新カリキュラムについて

平成24年度からカリキュラムを変更した理由のひとつには、保健師助産師看護師学校養成所指定規則（以下、指定規則）の一部が改正されたことがあげられます。指定規則は、本学のように看護専門職を養成する教育機関が、養成のために必要とする教育内容と単位数が定められた文部科学省と厚生労働省による合同省令で、今回の改正では保健師教育と助産師教育の充実を趣旨としています。

本学の平成24年度からの新カリキュラムの構築にあたっては、保健師教育および助産師教育に関連する科目の新設や必要単位数の増加等の変更を行い、指定規則の改正に準拠するようにしました。その他、基礎学力の向上を狙いとした「日本語トレーニング」を新設し、また、将来の看護専門職者としてこれまで以上にアイデンティティーの醸成が促進されるように「キャリアデザイン」も新設しました。このように指定規則の改正を踏まえた保健師教育や助産師教育にかかる科目の変更だけでなく、本学のカリキュラム編成方針をもとに、学生の看護実践能力の強化と教育内容の充実を目指した新カリキュラムとしました。なお、カリキュラムは入学年次に設定されているものが卒業時まで適用され、新カリキュラムは平成24年度からの入学生に適用されます。



## 学生委員会 ようこそ先輩・就職説明会

平成24年度の「ようこそ先輩・就職説明会」は、アンケートなどの皆さまのご要望に応じていつもより1か月早い5月10日（木）に開催されました。

ようこそ先輩のパネリストとして、卒業生のうち看護師2名、保健師2名、助産師1名、大学院修了生1名に来ていただきました。第1部では、国家試験勉強、就職、進学のことなど一人ひとりの経験を皆で聴ける場とし、第2部では就職説明会のブースで個別に相談できるような参加しやすい場としました。

就職説明会は、31病院の方々がそれぞれに工夫した素晴らしい資料やDVDなどを持参され、ご参加いただきました。看護部の皆さんと一緒に来ている担当の卒業生の先輩たちが、以前よりも多くなっている印象でした。参加した在学生は積極的に話を聴いたり資料をいただいたりして就職のことを真剣に考えていました。



## 最終選考に残る!! “全国放送争奪!” JFN学生ラジオCMコンテスト2012

「あなたが通う学校をラジオCMコピーとして自由にPRしてください」をテーマに開催されたこのコンテスト。本学の坪井博さんの作品が第二次選考（東海・北陸ブロック）を突破し、最終選考にノミネートされました。惜しくも入賞はなりませんでした。落語調の素敵な作品に仕上がっています。現在、FM三重キャンパスキューブ（金曜20：30～20：55）で放送中です。



三重県立看護大学 略してみかん大

その名のとおり みかんの木もございます。

桃栗3年 柿8年なんて言葉がございます。

みかん大は4年で看護師が実ります。

かくゆうわたしは2年生、みかんせい（未完成）でございます。

三重県立看護大学



## ● ● 経験を通して変化する「看護」への思い ● ●

大学病院の小児外科病棟で5年間、先天性の奇形や小児がんと闘っている新生児から中学生までのお子さんと、そのご家族の看護を実践してきました。看護教員としての経験を重ねるにつれ、この臨床経験が私の「看護の原点」になっていることを強く感じています。

看護師としての力の無さに落ち込みながらも、あの時に会った子どもやお母さん達から、多くのことを教えていただきました。この臨床での悩みや疑問、気づきは、その後研究として掘り下げることになり、現在の教育・研究活動へと生かされています。

現在の研究テーマは、看護教育方法（コンピュータ教材の開発）、看護倫理（臨床看護師の倫理的葛藤と対処行動）、認知症に関する看護（介護者の語りの分析、転倒予測スケールの開発）です。

学部生には、「看護ってすごいな！」と看護の力を信じられ、自己研鑽していくことができるプロフェッショナルとして成長してくれることを願いつつ、また大学院生とは共に「看護の本質」に迫ろうと、老眼になり始めた目と身体で日々奮闘しています。

現在、看護実践で悩みや疑問を抱えていたり、もっと看護を学びたいと考えている看護職の皆さん、本学の図書館や公開講座、大学院の門をぜひ拓いてみてください。



基礎看護学 教授  
岡本 恵里

看護師としての臨床経験後、専門学校・短期大学・大学で看護基礎教育に従事し、平成22年より現職。（筑波大学大学院教育研究科修士課程修了、カウンセリング修士）

## ● ● 小さな赤ちゃんと家族の成長のために ● ●



母性看護学 助教  
田中 利枝

三重県立看護大学看護学部卒業後、神戸大学医学部附属病院周産母子センター助産師を経て、現職。（三重県立看護大学大学院看護学研究科修士課程修了）

私は、本学を卒業後、周産母子センターの新生児集中治療室（NICU）で、ハイリスクな新生児、特に小さく生まれた赤ちゃんとお母さんへのケアを実践してきました。新生児集中治療室は、未来ある子どもたちの命を救う場でもあり、生まれた赤ちゃんとお母さん、家族が育つ場でもあります。今まで出会ってきた小さな赤ちゃんたちは、元気に成長して退院していく赤ちゃんばかりではありませんでしたが、その出会いのたびに「人が生きること、成長すること」の意味を教えてくださいました。このような経験が、今の私の研究テーマにつながっています。小さく生まれた赤ちゃんが、健やかに成長していくように、また、お母さんが母親として自信を持って育児をしていけるように、妊娠・出産・育児を通して、家族みんなが成長していけるように、助産師としてできることは何か、そのことを、日々、探究し続けています。また、学生たちとともに、母性看護を学び、人が人として成長していく瞬間、家族が家族として成長していく瞬間を大切に、助産師として、母子のケアをさせていただく楽しさ、使命感を、学生に伝えていけるよう心がけています。



# 行事予定

## 平成24年度大学行事予定 (9月以降)

## 平成24年度 地域交流センター事業行事予定 (9月以降)

9月	1日 大学院入試	9月	11日 公開講座「精神的健康を考える（対人関係に焦点を当てて）」 講師：水野正延教授 共催：花の丘病院
	8日 教育懇談会		21日 公開講座「きれい社会の落とし穴－アトピーからがんまで－」 講師：藤田紘一郎氏（東京医科歯科大学名誉教授）
10月		9月	23日 看護研究の基本ステップ（全4日：7/23,7/26,8/9,9/4）
			24日 初学者のための看護研究（全7日：7/24,7/27,8/10,8/24,8/30,9/18,10/9）
			25日 看護研究アドバンストコース「質問紙の作り方編」
			27日 公開講座「からだの発信音をキャッチしてみませんか」 講師：岡本恵里教授 共催：三重県学校保健会伊賀養護部会
10月	15日 後期授業開始	10月	5日 看護研究アドバンストコース「質的研究データ分析編」（全2日：10/5,10/26）
11月	10日 特別入試（地域推薦）	11月	6日 看護研究アドバンストコース「英論文の読み方編」（全3日：11/6,11/13,11/20）
	23日 特別入試（一般推薦・帰国子女・社会人）		15日 公開講座「薬に関する四方山話」 講師：林辰弥教授 共催：三重県退職女性の教職員の会伊賀支部
12月		12月	21日 公開講座「血栓症の発症原因とその予防」 講師：林辰弥教授 共催：津市敬和公民館
1月	19日 大学入試センター試験 20日	1月	25日 看護研究アドバンストコース「質的研究クリティーク編」（全2日：1/25,3/9）
2月	6日 後期授業終了	2月	9日 看護研究アドバンストコース「統計処理編」
	25日 一般入試（前期日程）		26日 公開講座「セネガルの人々の暮らし」 講師：橋本秀実助教 共催：伊賀市上野公民館
3月	12日 一般入試（後期日程）	3月	3日 公開講座「アウトドア救急法」 講師：玉田章教授 共催：大垣勤労者山岳会
	16日 卒業式		

\*地域交流センター関連の事業は、地域交流センター提案事業のみを掲載しています。

\*この行事予定は8月3日現在のものです。今後追加される行事があります。

\*行事の詳細については、大学HPでお確かめください。

## 大学評価

本学は学校教育法の定めるところにより、平成25年度に大学評価（認証評価）を受審する予定です。現在それに備えて教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自己点検・評価を行っているところです。

## 平成25年度入試より インターネット出願を始めます

### 【環境にもやさしいインターネット出願】

インターネット出願は、受験生やその保護者の方への利便性はもちろんのこと、紙による入学願書の作成数を大幅に削減することにより、環境にも貢献することができます。（詳しくはHPをご覧ください）

## RC・MCCが引っ越しました

RC（地域交流センター）とMCC（メディアコミュニケーションセンター）が大学院棟1階に移転しました。業務スペースのほか、打合わせにも可能な一室を設けております。今春産まれたメダカたちもお待ちしておりますので、ぜひお立ち寄りください。



12

MCN REPORT

# 新任教職員紹介

## 老年看護学

きむら のぶお  
木村 暢男

リハビリテーション病棟での看護師、居宅介護支援事業所でのケアマネジャーの経験を経て、今年の3月まで介護福祉士の教育に携わっていました。看護教育は初めてですが、学生の皆さんと一緒に精一杯がんばっていききたいと思っていますので、よろしくお願いします。

## 実践基盤看護学

にしざわ  
西澤 あゆみ

今年度より、実践基盤看護学の助手に就任いたしました。初めての教育現場にドキドキしていますが、新しいことをしっかり吸収していききたいと思います。学生さんに負けないくらいバワフルに、そして学生さん達と共に成長していけるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いします!!

## 地域在宅看護学

わだ ようへい  
和田 庸平

今年度より地域在宅看護学の教員として採用されました。保健師、訪問看護師として働いていました。自転車が趣味なので、「地域を知る」と理由をつけてロードバイクに乗って三重県内を走り回ろうと思っています。

## 感染管理専任教員

わき ますみ  
脇 眞澄

今年度より、認定看護師教育課程「感染管理」の専任教員を務めることになりました。教員という初めての経験を楽しみたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 地域在宅看護学

たじ じゅんいちろう  
多次 淳一郎

3月まで横浜市で保健師として高齢者を中心とした地域福祉保健の分野で働いていました。県内の看護職や福祉保健活動をされている方たちとの繋がりを大切にして教育研究活動に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。



## 新任教員



木村 暢男

和田 庸平

多次 淳一郎

西澤あゆみ

脇 眞澄

松本 尚子

白石 葉子

丹生 かづ

森山 美香

## 退職の教員

伊藤 薫	講師	平成24年 3月
草川 好子	講師	平成24年 3月
藤井 洋子	講師	平成24年 3月
澤井 早苗	特任講師	平成24年 3月
日比野 直子	助教	平成24年 3月
武田 佳子	助手	平成24年 3月

## 平成24年 3 月に退職・転出の職員

山下 敦志  
正後 敦史  
染川 めぐみ  
松谷 佳代  
中野 未姫  
長谷川 仁美  
樋口 尚子  
但住 昌子  
藤ノ木 陽架



## 実践基盤看護学

まつもと ひさこ  
松本 尚子

皆さんにサポートしていただきながら日々学んでおります。じっくり考えて行動するタイプなので、時間がかかるのが欠点です。大事なことを見落とさず、よく考え、早目に実施できることを目標に取り組んでいきます。

## 地域交流センター

にゅう みか  
丹生 かづ

4月から、地域交流センターの特任助手として勤務しております。私はこれまで約35年間、臨床現場で看護に関わってきました。教育現場は新たな経験です。これまでの経験を教育の場に少しでも還元できればうれしいです。

## 実践基盤看護学

しらishi ようこ  
白石 葉子

静岡県からきました。趣味は体を動かすことです。健康増進・外国人看護師育成などを研究テーマにしています。授業では、看護の基本を丁寧に身につけ、「なぜ？」を考えることができる力を養えるよう、支援していきたいと思っています。

## 成人看護学

もりやま みか  
森山 美香

今年度から成人看護学領域の助教として着任いたしました。以前は、看護師として病院で働いていました。これまでの経験を活かしつつ教員として頑張っていこうと思っています。よろしくお願いします。



## 総務課



総務課課長  
やまむろ みのも  
**山室 稔**

総務課職員として大学の環境整備に努めていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします

## 教務学生課

### 総務課

まえかわ ひろみち  
**前川 宏行**

4月に総務課に赴任しました前川です。昨年までは、県庁の廃棄物監視・指導室に勤務してひました。4月から仕事の内容も変わり、心機一転よろしくおひねいします。

### 総務課

なかい ちえ  
**中井 千恵**

4月に志摩建設事務所から赴任してきまひた。総務課で職員の給与・旅費を担当してひます。どうぞよろしくおひねいします。

### 総務課

こかわ さきこ  
**粉川 紗規子**

総務課で研究費に関する業務を担当してひます。

日々、学ぶ姿勢を心掛けて努めてまいりたいと思ひておひます。

よろしくおひねいいたします。

### 教務学生課

いとう ひろみ  
**伊藤 ひろみ**

4月より奨学金関係・証明書発行他の事務担当をしてひます。教務学生課は学生さんに特に身近な課といえるので、気軽に声をかけてもらえる雰囲気をつくっていききたいと思ひます。

## 企画広報課



### 企画広報課

あさだ なつき  
**浅田 なつき**

企画広報課で主に学生募集を担当してひます。より多くの方々に「みかんだい」の魅力をはげえられるよう広報活動を行っていききたいです。

どうぞよろしくおひねいいたします。

### 企画広報課

やました ようこ  
**山下 陽子**

今年度より、企画広報課に勤務させてひいておひます。大学での勤務は初めてで、慣れないことも多いですが、本学のことを一人でも多くの人に知ってもらひ、関心を持っていただけるよう頑張りたく思ひます。

### 企画広報課

まつもと めぐみ  
**松本 めぐみ**

認定看護師教育課程「感染管理」の事務を担当してひます。昨年度から始まった新しい教育課程ですが、わたくしも教育課程と共にさらなる成長を続けたいと思ひます。

## 附属図書館



### 附属図書館

おおかわ たけひさ  
**大川 健久**

いつもご利用頂きありがとうございます。皆様にとって居心地の良い環境であるようにしっかりと図書館員の職務を果たしていきたく思ひます。

### 附属図書館

ささき あい  
**佐々木 愛**

昨年7月から附属図書館にお世話になっておひます。

学生の皆さんに有意義な学生生活を送っていただけるよう努めまひますので、どうぞよろしくおひねいいたします。





## 交通のごあんない

### 公共交通機関で

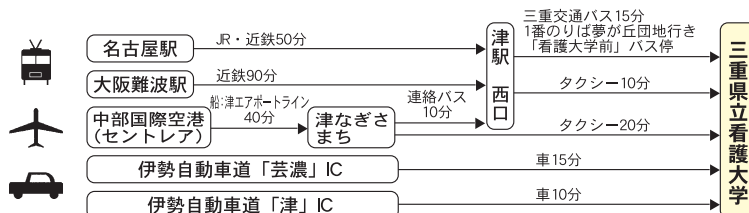
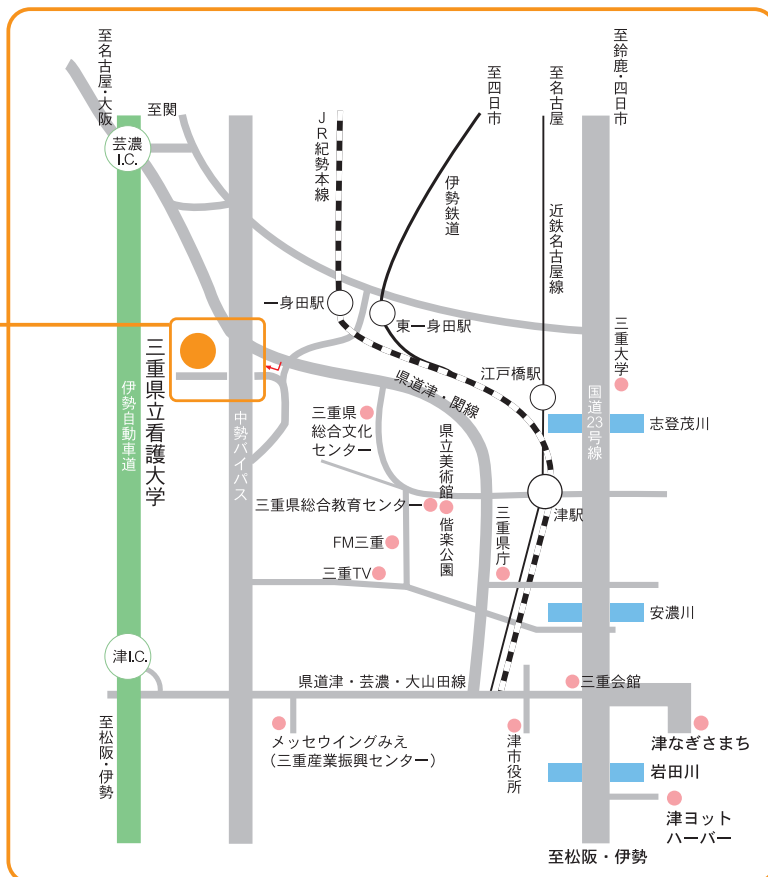
- 名古屋方面より：「名古屋駅」から「津駅」まで  
JR快速みえ・近鉄特急で50分
- 大阪方面より：「難波駅」から「津駅」まで  
近鉄特急で90分
- ・「津駅」西口バスのりば「1番」から三重  
交通バスで「夢が丘団地」行き「看護大学  
前」バス停下車 徒歩1分
- ・「津駅」西口よりタクシーで10分

### 飛行機 船で

- 「中部国際空港(セントレア)」から  
津エアポートラインで「津なぎさまち」へ40分  
「津なぎさまち」からタクシーで「三重県立看  
護大学」まで20分

### 車で

- 伊勢自動車道「津」ICより10分
- 伊勢自動車道「芸濃」ICより15分



### 学章の由来

看護のイメージを高めてほしいという願いと、未来に向かって成長していく若者の姿を大小2つの翼とナースの「N」をモチーフにして表現しました。



「大学基準協会」の定める「大学基準」に「適合」と認定されました。

認定マークとは…法で定められた認証評価機関である大学基準協会の大学評価を受け認定された大学に交付されたものであり、その大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることを示すシンボルです。



三重県立看護大学は環境配慮の国際規格を認証取得しました。

看護系大学で初めてISO14001を認証取得。

地球環境と共生し調和するエコキャンパスをつくるため、ISO14001に基づく環境マネジメントシステムを構築し、地球環境にやさしいキャンパスづくりを積極的に推進しています。

ISO14001とは…ISO（国際標準化機構）環境保全のための国際規格ISO14000シリーズのうち、ISO14001は企業や団体が事業活動を行う際に、環境に対する負荷を軽減する事業活動の一部として組み込み、継続的改善を行うための環境マネジメントシステムについて定めています。



### 本学キャラクター「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大（みかんだい）」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

## 編集後記

18号となる今回は、15周年記念式典、入学式、卒業式、夢緑祭など大学で実施された多くの行事についてご紹介しております。お読みになる皆様が本学を少しでも身近に感じていただければ嬉しいです。そして、今後も皆様とともに発展していく本学でありたいと思っています。

編集に関係していただきました皆様に深謝いたします。

広報WG



公立大学法人

三重県立看護大学

〒514-0116 三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

http://www.mcn.ac.jp

